

おおっとろっしゅ! とよおか Vol.4



発行日 2024年3月

発行 豊岡市観光文化振興課

TEL: 0796-23-1160

編集 株式会社シアターワークショップ

さあ、新文化会館で、あなたは何する？ どう使う？

2024年2月9日（金）、新文化会館の管理運営計画策定に向けた市民ワークショップの最終回を開催しました。

今回のテーマは「市民参加について考えよう」。新文化会館は文化芸術の「交流拠点」ですので、開館後も市民のみなさんに積極的に関わっていただくことが大切です。

イベントへの参加からちょっとしたお手伝い、企画や運営に関わる形まで、市民参加といっても、その形はさまざまです。まずは参加者の皆さんが「自分は新文化会館にどう関わっていききたいか」を考え、そこから、そのために必要な仕組みや、開館前から取り組めることのアイディアを出していただきました！

ワークショップでいただいたアイディアの内容は以下をご覧ください。



市民参加について考えよう

○あなたは新文化会館にどのように関わっていきたいですか？

やりたい！

- ・合唱団の発表
- ・「まるっと JAZZ の館」イベントをやりたい！（企画、運営からやります）
- ・生け花ワークショップ（講師できます）
- ・美術団体の合同展覧会
- ・美術講座
- ・11月3日（文化の日）は市民芸能祭の開催日として定着させたい
- ・市内の様々な地域の文化交流（各地域のお祭りを紹介しあうなど）
- ・旧市町単位でわが町のじまん

サポートしたい！

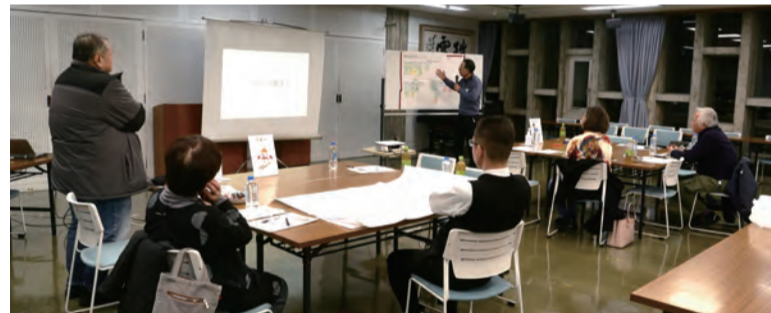
- ・参加しやすい時間、曜日でサポートスタッフをやりたい
- ・案内、受付、手助けスタッフ
- ・イベント企画講座

期待！

- ・若者の活躍の場を整備する！

観たい！

- ・K-POP コンサート
- ・おいしいものあつまれ！
- ・演劇などを手軽な価格で観たい
- ・気軽にホールに色々なものを観に行くための広報（何をやっているかがわかるように）
- ・JAZZ 講座
- ・地域の伝説や歴史の講座があればいいな！
- ・演劇祭との交流にも



○市民の皆さんが参加しやすくなるためには、どのような仕組みがあったら良いでしょうか？

連携の仕組み

- ・市民でつくる運営委員会
- ・市内の文化施設同士のつながり
- ・市内で文化活動やイベントを開催している組織同士の横の繋がり

使いやすさのための仕組み

- ・障がい者の割引や簡単に予約がとれるようにする等、使いやすいルール
- ・サポートスタッフ用の交通機関が必要
- ・会館へのアクセスが難しい地域へのサポート

アーティストの招致

- ・観光資源でアーティストをもてなす
- ・すごい人を呼ぶ（マーチングバンド、合唱団など）

○開館に向けた準備として取り組んでおくことはありますか？

プレイベント

- ・市民コーディネーターになる
- ・演劇祭とコラボしてもいいねっ！
- ・愛称をつける
- ・若い世代にプレイベントをやってもらい、配信する（バンドなど）
- ・楽しいイベントをする

広報・宣伝

- ・根気よく広報を行う（紙、SNS）
- ・目につく広報
- ・広報は広く行う（いつ、何をやっているかわかるように）
- ・若い人にショート動画を作ってもらう
- ・FMなどでたくさん知らせる



「観たい！」から「やりたい！」まで、多様な形での「市民参加」のアイディアが生まれました。

これをお読みになっているあなたは、新文化会館にどう関わってみたいですか？

参加者アンケートの声（抜粋）



自分たち市民も参加できるんだと、楽しみにになりました



また初めての方と出会えて、ちがう分野の話が聞けて、うれしいです



引き続き、市民の意見をしっかりと入れて下さい

これにて、全4回のワークショップが終了しました。市民のみなさまからいただいたアイディアは「管理運営計画検討委員会」を通して、新文化会館の「何する？」「どう使う？」を定める「管理運営計画」に活かしていきます！これからも市民のみなさまの積極的なご協力をお願いします！